

事業コード	H29-建-継-12		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方道路交付金事業(交通安全)		部局課室名	建設部 道路課
事業種別	歩道設置事業		班 名	道路環境・維持班 (tel) 2488
路線名等	(一)川連増田平鹿線		担当課長名	参事(兼)道路課長 石川 浩司
箇所名	横手市平鹿町醍醐字石成		担当者名	副主幹(兼)班長 石川 康樹
プランとの 関連	政策コード	04	政 策 名	安全で安心な生活環境の確保
	施策コード	03	施 策 名	四季を通じて快適な生活環境の確保
	指標コード	01	施策目標(指標)名	快適で利便性の高い道路環境の整備

1. 事業の概要

事業期間	H25 ~ H32 (8年)	総事業費	3.9 億円	国庫補助率	65.45	
事業規模	延長L=330m 幅員W=5.5(10.5)m (1.25-2.75-2.75-1.25-2.5)					
事業の立案 に至る背景	<p>○本路線は国道13号とはほぼ平行して、湯沢市川連町から横手市増田町を経由し、横手市平鹿町に至る県道である。当該計画区間は国道13号から石成集落内までの330m区間であり、醍醐小学校の通学路として利用されているが、車道が狭小のうえ歩道もなく歩行者は非常に危険な状況となっている。</p> <p>○隣接する国道13号交差点では国土交通省の工事が行われるほか、国道から当該計画区間に及ぶ範囲で市の下水道工事も予定されている。県道工事も連携して施工し手戻りがないように実施する。</p>					
事業目的	<p>○通学路における児童の安全確保(安全な生活環境の確保)</p> <p>○幅員の確保による車両通行の安全性向上(地域づくり支援)</p> <p>○線形不良区間の改良による見通しの改善(地域づくり支援)</p>					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等	
	事業費	350,000	390,300	40,300		
	経費内訳	工事費	56,000	44,000	▲12,000	横断排水等の変更等による減
		用補費	281,000	324,100	43,100	防火水槽補償費が必要なため増
	財源内訳	その他	13,000	22,200	9,200	防火水槽補償費算定のため増
		国庫補助	245,000	263,204	18,204	
		県債	94,500	114,300	19,800	
その他						
一般財源	10,500	12,796	2,296			
事業内容	調査・設計 歩道工		調査・設計 歩道工		国庫補助率の変更による	
事業の進捗 状況	<p>○平成29年度末での用地補償進捗率見込み約73%</p> <p>○平成30年度から工事を実施する予定</p> <p>○平成29年度末での事業進捗率見込み約48%</p>					
事業推進上の 課題	用地補償上の課題:事業反対者1名あり 土地・建物の名義が異なる物件1件(親族間で協議中)					
関連する計画等	<p>○第10次秋田県交通安全計画(H29)</p> <p>○横手市通学路交通安全プログラム(H28)</p> <p>○国土交通省の道路改良工事(H24~H29予定)</p> <p>○横手市の下水道工事(H29協議を実施、H30工事開始予定)</p>					
情勢の変化 及び長期継続 の理由	特になし					
事業効果把握の 手法及び効果	指標名	歩道整備率				
	指標式	実績延長/道路延長				
	指標の種類	○ 成果指標	● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無	
	目標値 a	40.0 %		データ等の出典	道路課調べ	
実績値 b	39.4 %					
達成率 b/a	98.5 %		把握の時期	平成29年 4月		

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容（特記事項）	評 価 点
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> ○当該区間は醍醐小学校の通学路として利用されているが、歩道が未設置であり幅員も狭小（最小5.9m）であるため、大型車等のすれ違い時に児童が危険にさらされている状況にある。 ○当該区間は、家屋が連担しており、かつ道路の両側に並ぶ電柱により、見通しが悪くなっているため、過去には歩行者の死傷事故(H15.12)も発生している。 ○接続する国道13号には歩道が設置されているが、当該区間には、通学路にかかわらず設置されておらず、歩道の連続性が確保されていない。 	15点
緊 急 性	<ul style="list-style-type: none"> ○当計画区間と隣接して国土交通省の道路改良工事および市の下水道事業も計画されており、両者との連携により手戻りなく進めることができる。 ○平成11年から平成27年までの間で事故が8件発生しており、うち1件は歩行者の死傷事故が発生している。(H15.12) ○当該工区は、「横手市通学路交通安全プログラム」において、重点箇所として位置づけられており、早急に歩道の整備を実施する必要性のある箇所である。 	30点
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> ○歩道を整備することにより、車両と歩行者を分離でき、安全性の向上が期待できる。 ○交通量に応じた車道拡幅を行うことにより、狭小区間が解消され安全性が向上する。 	15点
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> ○国土交通省や市と連携して施工することにより、手戻りのない工事が可能となる。 ○現道拡幅のため、早期に事業効果が出現する。 	10点
熟 度	<ul style="list-style-type: none"> ○平成16年12月に横手市長・自治会長からの要望書の提出があり、平成24年3月には、石成地区道路拡幅を要望する会より、地元の方々の連名で要望書が提出され、事業を開始した経緯がある。 ○事業に反対を表明している方がいるが、地元としての熱度は依然として高い。 	8点
判 定	<p>ランク (<input type="radio"/> I <input checked="" type="radio"/> II <input type="radio"/> III)</p> <p>ランクIIであり、事業実施箇所としての優先度は高く、事業を継続すべきである。</p>	78点
総 合 評 価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止	
	事業継続は妥当である	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針）

コスト削減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 交通安全事業 (歩道)

事業コード (H29-建-継-12)
箇所名 (横手市平鹿町醍醐字石成)

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	12時間自動車交通量		4,000台/12h以上	10	5	1,460台/12h (H27センサ)
			1,000台/12h以上	5		
			1,000台/12h未満	0		
	歩行者交通量		100人/日以上	10	5	通学路 醍醐小6人、平鹿中1人
			100人/日未満	5		
			学童・園児 40人/日以上	10		
			学童・園児 40人/日未満	5		
	歩道の連続性		計画区間前後に歩道あり	10	5	国道13号側歩道あり
			計画区間前後の一方に歩道あり	5		
			計画区間前後に歩道なし	0		
	計			30	15	
緊急性	関連事業の有無		あり	10	10	石成地区歩道改築事業(国道13号)、横手市下水道工事
			なし	0		
	事故状況(死傷事故)		歩行者の死傷事故あり	10	10	H11~H27 事故件数8件(重傷1件、軽傷物損7件)
			車両単独もしくは相互の死傷事故あり	5		
			事故の発生なし	0		
	交通安全総点検要対策箇所等		該当あり	10	10	横手市交通安全プログラム
		該当なし	0			
	計			30	30	
有効性	交通安全指定道路		あり	5	5	指定あり
			なし	0		
	通学路指定		あり	5	5	醍醐小学校
			なし	0		
	公共施設 医療機関、公民館、図書館等		あり	5	5	醍醐クリニック、果樹試験場
		なし	0			
	計			15	15	
効率性	供用開始までの期日		3年以内に供用開始可能であり効果の出現が早い	10	10	H32完成予定
			供用開始まで4年から5年の時間を要する	5		
			供用開始まで6年以上と相当時間を要する	0		
	計			10	10	
熟度	地元の協力体制		事業に協力的	5	0	反対者1名あり
			用地反対等の問題あり	0		
	地元住民・関係機関の意向		採択時と比べて特段の変化がない	5	5	変化無し
			採択時と比べて低下が見られるが改善の見通しがある	3		
			採択時と比べて著しく低下し改善の目処が立たない	0		
	進捗状況		進捗が順調で計画どおりの完成が見込まれる	5	3	反対者1名、土地と建物の所有者が違う物件有り(親族内で協議)
		多少の阻害要因があるが解決の見通しがある	3			
		阻害要因の難易度が高く進捗の目処が立たない	0			
	計			15	8	
合計				100	78	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	II	
II	優先度が高い	60点以上~80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		